

| 科目名                 | 教員名 |
|---------------------|-----|
| 中国学特殊講義 XVIII（言語文化） | 郭 偉 |

## 免許・課程

教職課程

資格課程

## 開講詳細

| 開講キャンパス | 開講時期 | 曜日         | 時限         | 開講学年             | 単位数 |
|---------|------|------------|------------|------------------|-----|
| 渋谷      | 集中   | スプリングセッション | スプリングセッション | カリキュラムによって異なります。 | 2   |

## 講義概要

### 授業のテーマ

中国時事に関する中～高度な中国語の総合能力の養成

### 授業の内容

中国の政治・経済・社会・文化に関するエッセーで構成されたテキストに沿って授業を進める。テキストは全 15 課よりなるが、第 7 課から第 12 課まで進める予定。2 回に 1 課進むつもりで予習・復習して頂きたい。

### 到達目標

中国語の読解力・聴解力・表現力の向上を図るとともに、中国の政治・経済・社会・文化などに関する時事的な知識を学び、応用的な中国語によるコミュニケーション能力をバランス良く身につける。

### 授業計画

|       |  |
|-------|--|
| 第 1 回 | 授業紹介・既習事項の復習<br>【事前学修 分】<br>【事後学修 30 分】        |
| 第 2 回 | 第 7 課 文字は時代を映し出す<br>【事前学修 30 分】<br>【事後学修 30 分】 |

|               |  |
|---------------|--|
| <p>第 3 回</p>  | <p>第 7 課 文字は時代を映し出す</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p>                  |
| <p>第 4 回</p>  | <p>第 8 課 飲食こぼれ話</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p>                      |
| <p>第 5 回</p>  | <p>第 8 課 飲食こぼれ話</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p>                      |
| <p>第 6 回</p>  | <p>第 9 課 若者は欲しがらず、老人は使いこなせないもの、なーんだ？</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p> |
| <p>第 7 回</p>  | <p>第 9 課 若者は欲しがらず、老人は使いこなせないもの、なーんだ？</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p> |
| <p>第 8 回</p>  | <p>まとめ (1)</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p>                           |
| <p>第 9 回</p>  | <p>第 10 課 パンダの名前はどうか決める？</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p>             |
| <p>第 10 回</p> | <p>第 10 課 パンダの名前はどうか決める？</p> <p><b>【事前学修 30 分】</b></p> <p><b>【事後学修 30 分】</b></p>             |

|             |  |
|-------------|--|
| 第 11 回      | 第 11 課 デジタル化が市民生活の助けに<br>【事前学修 30 分】<br>【事後学修 30 分】  |
| 第 12 回      | 第 11 課 デジタル化が市民生活の助けに<br>【事前学修 30 分】<br>【事後学修 30 分】  |
| 第 13 回      | 第 12 課 トウガラシ大王の「渡り鳥農業」<br>【事前学修 30 分】<br>【事後学修 30 分】 |
| 第 14 回      | 第 12 課 トウガラシ大王の「渡り鳥農業」<br>【事前学修 30 分】<br>【事後学修 30 分】 |
| 第 15 回      | まとめ (2)<br>【事前学修 30 分】<br>【事後学修 分】                   |
| 授業計画<br>の説明 | 授業の進みぐあいによって、スケジュールが変更される場合もある。                      |

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

### 授業時間外の学習方法

テキストの文を音読し、意味の分からない語句については辞書などで調べておく。授業後、同じ文をもう一度音読し、重要な用語や知識を記憶する。余裕があるなら、関連文献を調べる。また、応用実践で作成した中国語の文を整理し、流暢にプレゼンできるようにする。

### 受講に関するアドバイス

参加型の授業であるため、出席、予習、課題への取り組みが重要。  
なお、授業中の練習に Googleform を利用する予定で、ネットにアクセス可能なデバイスを用意する必要がある。

### 成績評価の方法・基準

| 評価方法 | 割合   | 評価基準                     |
|------|------|--------------------------|
| 平常点  | 100% | 予習の成果、授業内容の習得程度と表現能力の達成度 |

※すべての授業に出席することが原則であり、出席自体を加点の対象とすることはできません。

|      |  |
|------|--|
| 注意事項 | 平常の学習態度、成果を重視し、授業中の積極性を高く評価する。欠席五回以上で失格。 |
|------|--|

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

|            |  |
|------------|--|
| 実務経験に関する記載 |  |
|------------|--|

|           |  |
|-----------|--|
| 履修登録制限・備考 |  |
|-----------|--|

## 教科書・参考文献等

### 教科書

『時事中国語の教科書 2023 年度版』（三瀆正道・陳祖蓓・古屋順子、朝日出版）

出版社 URL <https://text.asahipress.com/chinese/detail.php?id=1899>

音声 URL <https://text.asahipress.com/free/ch/245373>

また必要に応じてプリントを配布する。

### 参考文献

| 書名 | 著者名 | 出版社 | 備考 |
|----|-----|-----|----|
|    |     |     |    |

### 参考文献コメント

毎回、必ず、中日／日中辞典を持参すること。電子辞書でも可。

### 参考になるウェブページ